

Cisco Business Wirelessアクセスポイントは、ゼロデイ設定の完了後も赤いLEDパターンの点滅を続けます

要約

Cisco Business Wireless(CBW)アクセスポイント(AP)は、ゼロデイの設定とリブートが終了した後も、赤い点滅するLEDが引き続き表示されることがあります。このドキュメントは、この問題を強調し、CBW APのゼロデイ設定を正常に完了するために従う必要があるソリューションを定義するために開発されました。

影響を受ける製品

- 140AC ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新版をダウンロード](#))
- 145AC ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新版をダウンロード](#))
- 240AC ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新のダウンロード](#))

問題の説明

CBW APのゼロデイ設定では、新しいAPを設定済みの状態からセットアップする方法を案内します。初期設定が完了するとAPがリブートし、その間アクセスポイントのLEDは複数のカラーパターンを通過します。LEDが緑色に点滅している場合は、ユーザが次の手順に進むことができることを示します。場合によっては、初期設定とリブートが完了した後に、アクセスポイントが赤く点滅するLEDパターンを通過しないことがあります。これは、Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)サーバがないためです。このドキュメントでは、CBW APの初期設定を正常に完了し、Webインターフェイスを介してAPにアクセスするための、この問題の解決策を定義します。

解決方法

CBW APの初期設定を正常に完了するには、ゼロデイ設定中にAPがスイッチまたはDHCPサーバを搭載したルータに接続されていることを確認します。

ユーザが初期セットアップ時に管理用にスタティックIPアドレスを設定しても、AP機能を処理できる2番目のIPアドレスを割り当てるためにDHCPサーバが必要です。APに必要な両方のIPアドレスが設定されると、期待通りに動作し、初期設定を正常に完了できます。

新しいAPまたはメッシュエクステンダをネットワークに追加する予定はありますか。後でスタティックアドレスに変更する予定の場合でも、初期インストールプロセスにDHCPサーバがあることを確認します。